

健康・福祉・医療分野

健康・福祉・医療分野

市民生活分野

VI 4 ノーマライゼーション社会の実現 バリアフリーの推進

現状と課題

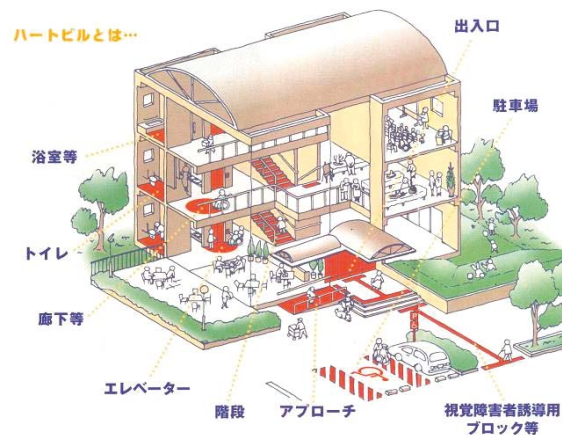
まちづくりに対する基本的な考え方は、わが国における急速な高齢化の進行と、障害のある人々が普通に参加できる社会であるノーマライゼーション^{*}の理念等を背景に、大きく変わりつつあります。まちには、幼児から高齢者、そして車椅子利用者や視覚・聴覚等に障害のある方々など、多様な人々が生活しています。これらの人々が、生活のあらゆる場面で穏やかに気持ちよく利用できる魅力的な空間をいかにして実現するかが今後の重要な課題となっています。



ノンステップバス



障害のある方による公共施設のバリアフリー点検



基本方針

市民や事業者が、多様な身体特性を有する人々が社会を構成していることを認識した上で、すべての人々が安心して快適に利用できる良好な公共施設や建築物をつくるよう啓発するとともに、聴覚や視覚に障害のある人にとっての必要な情報（安全情報、行政サービス情報等）を適時に得ることができるよう機器の整備を進めるなど、金沢市としてバリアフリー化を積極的に推進します。

事業計画（主な事業とその内容）

〔バリアフリー整備の啓発・指導〕

不特定多数が利用する公益的施設について、チェックリストに基づくバリアフリー整備状況を記入し、バリアフリー整備の啓発を図ります。また、特にバリアフリー化が必要な施設については、建築確認申請前に届出義務を課すことでバリアフリーの指導を行います。

〔公営住宅の改善・建て替えの推進〕

建物の老朽化や施設の劣化した公営住宅については重点的に建て替えを進めていきます。また、施設の改修に際しては、住戸内の段差の解消や手すりの設置、通路幅の確保など、高齢者が安心して暮らせる住環境を整備します。

〔公共施設のバリアフリー化〕

公共建築物や道路、公園、学校等について、バリアフリーの整備状況を把握するとともに、バリアフリー化を推進します。また、オストメイト^{*}の方が安心して外出できるためのトイレ整備を進めます。

〔シルバーハウジング^{*}の推進〕

高齢者世帯が自立して安全、快適な生活を営むことができるよう、市営住宅の建て替えに合わせてシルバーハウジングを供給していきます。

〔公共交通のバリアフリー化〕

ノンステップバスや車椅子対応車両の導入、鉄道駅やバス停のバリアフリー化を支援・推進し、誰もが移動しやすい環境を整備していきます。

〔情報バリアフリー化の推進〕

視覚に障害のある人のための音声誘導システムの整備や点字による広報、また、聴覚に障害のある人が情報を得るためのTV電話や文字放送機器などの充実を図ります。

市民参加と協働

- ・市民、事業者のバリアフリーに対する理解

^{*}ノーマライゼーション
障害のある人や高齢者などが社会の中で障害のない人と同じように、あるがままの姿でふつうの生活を送ることがあたりまえの社会であるという考え方。

^{*}オストメイト
人工肛門・人工膀胱保有者。

^{*}シルバーハウジング
高齢者の安全性や利便性に配慮した設備や仕様、安否確認や生活相談、緊急時の対応等のサービスが受けられるよう配慮された住宅を供給する制度。

健康・福祉・医療分野

健康・福祉・医療分野

市民生活分野

VI 4 ノーマライゼーション社会の実現 障害のある人の自立支援

現状と課題

金沢市では、金沢市障害者計画「ノーマライゼーションプラン金沢」を策定し、障害のある人の社会参加の促進や就労、住まい、自立のための支援を行ってきました。また、平成18（2006）年4月から障害者自

立支援法が施行され、より効果的な施策の展開や障害のある人への負担のあり方等が大きく変わることから、これらに対応した支援のあり方を模索していく必要があります。

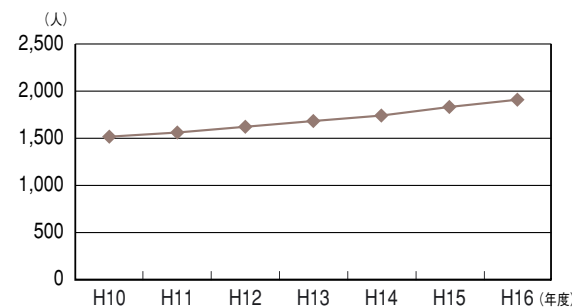


障害者相談員の研修会

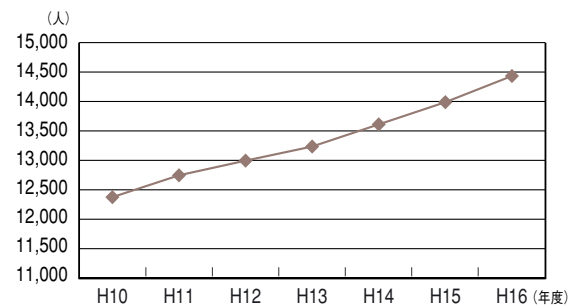


市民震災訓練での手話通訳

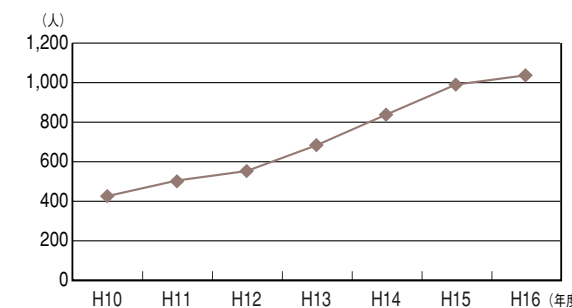
■療育手帳所持者数の推移



■身体障害者手帳所持者数の推移



■精神障害者保健福祉手帳保持者数の推移



基本方針

ノーマライゼーション社会の実現に向けて、障害のある人への理解や社会参加の促進、就労機会の確保、ユニバーサルデザイ

ンに配慮した住みよいまちづくりの推進、障害のある人の人権の尊重等を図っていきます。

事業計画（主な事業とその内容）

〔障害のある人の権利擁護〕

障害のある人の苦情を解決するための相談体制の強化を図るとともに、障害のある人の権利擁護に向けた啓発活動等を実施します。

〔障害のある人の外出支援〕

ハード面ではメルシーキャブサービス[※]や福祉バスの運行、公共施設や交通のバリアフリーの推進等、ソフト面ではヘルパーの養成など、移動に制約のある人の移動手段の確保を通じて、障害の種類や程度、年齢、環境に応じた外出支援策を提供します。

〔就労の促進〕

社会適応訓練等の充実を図るとともに、障害者就業・生活支援センターや石川障害者職業センター等と連携して障害のある人の就労機会の提供を進めます。また、ジョブコーチ制度[※]や在宅就業支援等を通じて就業機会を拡大します。

〔家族・住まいへの支援〕

単身者や高齢の親等の家族機能の弱いケースや医療が中断しやすいケースに対応するため、相談体制の充実や訪問指導の強化を図ります。また家事や介護等のホームヘルプサービスの推進、グループホームや福祉ホーム等の居住の場の提供等を通じて、生活の質の向上を支援します。

〔障害のある人の防災対応の強化〕

地域に配布した福祉防災台帳の整備を進め、災害時に援護が必要となる障害のある人の把握に努めるとともに、地域の自主防災組織等との連携を図ります。また、震災訓練等の行事に参加し、手話体験等を通じて障害のある人への理解と協力を促進します。

市民参加と協働

- ・当事者や家族、ボランティア等による障害のある人に対する理解の促進
- ・地域で障害のある人を支える協力体制づくり

[※]メルシーキャブサービス
金沢市が行っている、公共交通機関が利用できない車いす利用者の方の外出および社会参加をサポートするためのST（スペシャルトランスポート）ドア・ツー・ドア型の移送サービス事業の愛称名。

[※]ジョブコーチ制度
障害のある人の側に立つ就労援助者が職場に向かい仕事と共にする制度。